

～院長コラム～

『半夏、半夏』

半夏(はんげ)という生薬があります。
さといも科の多年草の球茎を水洗いした後、日干して使います。
ノド、胸、胃の心とカラダの痞(つか)えを取ります。
最近、うちでは、ハンゲ、ハンゲの2つの半夏が入った漢方薬を
飲むと調子がいいとおっしゃる女性が増えました。
実際は、半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう)、
半夏厚朴湯(はんげこうぼくとう)の2種類です。
一発でこの処方に決まったのではなくて、
あれこれ試していただいて、感想を聞いてまた考えるの
繰り返しの結果です。
胃がもたれる、痛い、ストレスが多い、呼吸が苦しい、
胸がつまった感じがする等、訴えがなかなか多い方です。
パッと見た目は何ともない方ですが、
御本人は毎回深刻な顔をして来られます。
半夏瀉心湯は、急性胃腸炎、二日酔い、神経症などに使えます。
半夏厚朴湯は気管支炎はもちろん喉頭異常感症などに使います。
たまたまこの2つの組み合わせが有効な方がいました。
現代には欠かせない漢方薬シリーズの1つでしょう。

「子ども健康ネットブログ」より



なかしま子どもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



子ども健康ネットブログ
QRコード

なかしま子どもクリニック



通信

2014年6月号

なかしま子どもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



診療予約

058-327-4891

お問い合わせ

058-327-3100